

ふよっこだより

〈実地教育について〉



本園の任務のひとつである実地教育についてお知らせします。

兵庫教育大学の学生は、その多くが幼稚園や小学校の教師を目指しており、大学での学習に加えて、卒業までの間に、本園やその他の学校で多くの実地教育（教育実習）を行い、教師としての資質を高め、必要な技能を習得していきます。本園は、大学の附属学校として、こうした実地教育を担う実習校としての役割をもっており、多くの実習生を受け入れています。また、実地教育以外でも、教師を目指す学生に体験的な学習の場を提供しています。実地教育を中心に本園で実施している内容について、以下に簡単にご説明します。

○学校観察実習（実地教育Ⅰ）・・・期間：5日間 5/7（火）～5/14（火）
8日（水）を除く

学部1回生が行う実地教育です。幼稚園に1日、小学校に1日、中学校に1日、特別支援学校に2日の計5日間、4校種で観察実習をします。本園には、一日約十数名の学生が、5日間、入れ替わりで実習に来ます。教師としての自覚と心構えを培い、教職への第一歩を踏み出すための実習です。学生たちは、子供たちや教師の姿に触れ、幼稚園教育を体験的に理解します。

○幼稚園実習（実地教育Ⅲ）・・・期間：4週間 5/20（月）～6/14（金）

学部3回生が附属幼稚園または附属小学校で行う実地教育です。通常の教育実習にあたるもので、最も中心となる実地教育です。本園では、幼児教育を専門として学ぶ幼年教育系コースの学生（本年度は19名）が実習を行います。この実習では、学級担任の指導のもとに、子供たちと直接触れ合い、保育に参加しながら、幼稚園教育の全般（教師の役割、幼児の発達、学級経営、教材開発、指導方法など）について実地に即した学習をします。

幼年教育系コース以外の学生は附属小学校で実習を行います。附属小学校での実習は2グループに分かれて実施され、本園と同時期に行うグループと、別の時期（10/10～11/2）に行うグループがあります。特に、これらの期間は、多くの学生が実習のためにやまくにプラザ西側駐車場を利用しますので、送迎に自家用車を利用される方は譲り合ってください。

○その他

- ・希望する学生が、授業の空き時間を利用して、指定の学校園における教育活動に参加する学校サポート体験学習があります。行事等の教育活動に参加することで、教育内容や園運営を幅広く理解し、専門性の向上を目指します。今年度、該当者はいません。
- ・本園を修了した他大学の学生が、教員免許状取得のため本園で教育実習を行う場合もあります。
- ・大学院生が、授業の一環として、本園で観察や実習を行うこともあります。

学生たちとの触れ合いが、園児の育ちにとっても有意義なものとなるよう、しっかりと指導していきたいと考えています。本園の任務である実地教育についてのご理解、ご協力をいただくとともに、学生たちに温かい励ましをお願いいたします。